

東京2020 オリンピック・パラリンピック 復興のモニュメント ワークショップ ～感謝・応援の気持ちをメッセージと作品で伝える～

8月22日（木）に東京オリンピック・パラリンピックに向けたモニュメント制作ワークショップが開催され、本校の1,2年生が参加しました。

ワークショップは、被災地に届けられた支援に対する感謝や、大会に出場するアスリートへの応援の気持ちをメッセージを「復興のモニュメント」を通して表現することを目的に、岩手・宮城・福島県の3県で実施されました。

はじめに、モニュメントのデザイン案を投票により選びました。

開会式の後、東京藝術大学の学生が作成した5つのデザイン案が発表され、それぞれの案にこめられた様々な工夫や願いが語られました。その後投票を行い、1つの案に決定しました。



続いて、モニュメントに装飾するメッセージと、デザインを考えました。

岩手県内33市町村から寄せられた、東京オリンピック・パラリンピックに出場する選手への応援メッセージの中から、担当に分かれた生徒たちがどの言葉をモニュメントに記載するのか考えました。また、選んだ言葉をどのようにデザインしモニュメントに装飾するのか、グループでアイデアを出し合いました。

デザインを考えるという難しい活動に少し苦戦しながらも、大学生からアドバイスをもらい一生懸命に取り組みました。考えたアイデアはクラス内で発表し、大学の先生方のアドバイスをもらいながらさらに良いものへと修正していきました。



デザインが決まったら、仕上げの清書を行いました。字を書くことが得意な生徒や絵を描くことが好きな生徒が協力し合いながら、完成に向けて真剣に取り組みました。

最後にはみんなで集合してお互いのデザインを披露し、記念撮影を行いました。

自分たちの作ったメッセージやデザインが、実際のオリンピック・パラリンピックの応援メッセージとして装飾されるという貴重な体験ができ、笑顔あふれる楽しい1日となりました。

今後、生徒によるデザイン案を元に東京藝術大学の学生らがモニュメントの作成を行い、2020年の東京オリンピック・パラリンピックで会場付近に展示します。モニュメントはオリンピック終了後、「復興の象徴」として岩手県に寄贈される予定です。

